

北星学園大学 後援会だより

VOL.133



Hokusei Gakuen University
北星学園大学
北星学園大学短期大学部

発行日 2018年6月1日
発行者 北星学園大学後援会事務局
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
電話 (011)891-2731
印刷 (社福)北海道リハビリ



社会的役割を果たす大学

学長 大坊 郁夫

田村信一前学長の後を受け、4月から学長になりました。30年前から12年間本学（文学部、社会福祉学部）に在職しておりましたので、18年ぶりに「帰郷」したことになります。どうぞよろしくお願いいたします。よろしくお願いいたします。この間、カバード・ウォーク、C館、センター棟を始めとしてお洒落なキャンパスに変貌したと喜ばしく感じています。

晴天のもと4月5日（木）に、ニトリ文化ホールにて入学式を挙行いたしました。当日は新入生、ご家族の皆様が早くからお越しください、急遽開扉時間を繰り上げたほどでした。多数の方々にご臨席をいただき、盛大

な入学式となりましたことに篤くお礼申し上げます。その後、4月9日に授業科目の履修登録と前期授業が始まり、キャンパスの中庭やC館1、2階では昼休みや授業の合間に先輩学生がサークル等への勧誘を盛んに行っていました。

今年の入学者数は、以下の通りです（括弧内は2、3年次編入者数）。文学部英文学科126（13）、心理・応用コミュニケーション学112（4）、経済学部経済学科168（3）、経営情報学科120（2）、経済法学科130（3）、社会福祉学部福祉計画学科98（5）、福祉臨床学科88（3）、福祉心

理学科75（1）、短期大学部英文学科137、生活創造学科89。いずれの学科も定員を上回る学生を迎えました（定員の1.14倍）。なお、他に、大学院社会福祉学研究科（修士4、博士3）、経済学研究科（修士3）計10名が入学いたしました。

さらに、英米中韓からの留学生26名を迎え、キャンパスは一気に国際色豊かな賑わいを呈しております。

就職率は昨年同様好調で大学98%、短大95.5%となっております。これも偏に本学の卒業生の活躍とご後援いただいたいる皆様のご支援のお蔭と存じております。

なお、本学に対する私学助成額は3億6千万円（全国188位、道内5位）と本学の大学規模や人文社会科学系であること勘案するときに極めて高い評価を得ていると言えます。さらに、本学が自負できることと

して、大学の知の拠点である図書館の充実があります。本学では図書資料費に1億円強の予算を措置しておりますが、全国で1億円以上の予算措置をしている私立大学は100校程度であり、本学の図書資料費は道内でもトップクラスの位置にあります。また、他に先駆けて図書館の市民開放を行いました。今やその認知度、利用率も高く、公器としての大学の役割を果たしております。本学の建学の理念である「広い学問的視野のもとに、異質なものを重んじ、内外のあらゆる人を隣人と見開かれた人間」の育成に長年力を注いできた現れとと考えております。皆様のご期待に添える学生を育てることに一層の努力をしていきますので今後ともご支援をいただきたくお願い申し上げます。



北星学園の節目に 別れと新たな出会い

後援会副会長 佐藤 順子

6月は新緑の頃でも清々しく、花は一斉に開き新入生の皆様を歓迎しているかのようです。その中でも北星学園のシンボルであるライラックのすばらしさはまた格別のものでしょうか。近年少子化が叫ばれている中、約1,200名の新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。ご父母の皆様も一段落されたことでしょうか。これからは自己責任において行動していただくことを暖かく見守ってあげてください。

さて、今年3月で6年間の任

務を終え、田村信一学長が退任されました。大学開学50周年である2012年に学長に就任され、お忙しい中、後援会活動にも顧問として積極的に関わってくださいました。また大学のキャンパス整備・グローバル化に取り組む、昨年は学園創立130周年記念行事も無事終え、幅広くご活躍されました。後任には今年3月まで東京未来大学学長であった大坊郁夫氏が就任されました。大坊学長は1988年から12年間本学で教員をされており、

北星学園のことはよくご存知だと思えますので、更なる発展が望まれます。

北星学園の根底にはキリスト教の教えがあります。アメリカの女性宣教師サラ・C・スミス女士が1887（明治20）年に北星学園の前身であるスミス女学校を創立。1894（明治27）年、札幌農学校教授であった新渡戸稲造氏の助言により、「北の空にあって星のように輝く」という願いから「北星女学校」と命名されました。戦争中はキリスト教主義学校がゆえに多くの迫害があり、学園存亡の機もあつたでしょうが、その後1962（昭和37）年に男女共学の北星学園大学が開学されたのです。最初は女子中高の旧校舎で講義を行っていました。翌年12月に火災が起き、翌

後援会とは？



キャリアデザインプログラムの様子（就職活動支援）

北星学園大学後援会は、在学生のご父母、卒業生のご父母及び同窓生を会員として構成されており、今年で設立34年目になります。

本会の目的は、北星学園大学及び短期大学部における教育、研究活動の充実と発展に寄与することであり、「北星学園大学・短期大学部のサポーター」として活動を行っております。具体的には、図書館への図書等の寄贈、教員への学術出版補助、全国学会や学部・学科等で主催する事業への補助、国際交流経費補助、全国大会に出場する学生への補助や学生の就職活動支援、大学祭への援助、奨学金補助、サークル活動で使う備品等の購入などを行っています。

また、ご父母向けに毎年地区別父母懇談会を道内7会場（札幌・北見・旭川・帯広・釧路・函館・苫小牧）で開催し、本学の教育方針やカリキュラムについての説明、学生の修学状況等について個別面談を行っています。後援会が開催する各行事は、ご父母の皆様が本学について知る良い機会となっておりますので、多くの会員の皆様のご出席をお待ちしております。

なお、「後援会だより」は年4回発行し、会員の皆様に大学の情報をお届けしております。大学ホームページからもご覧いただけます。

※後援会に関する情報は右記QRコードからご確認ください。



新入生からの言葉 大学生活にむけて



文学部 心理・応用コミュニケーション学科

月森 夕奈 さん

大学生活が始まってから1週間が経った今、やっと第一歩が踏み出せたように思います。歩き慣れない通学路、広く設備の整った校舎、今までとは全く違う授業内容。全てが目新しく新鮮で、慣れるのにはもう少し時間を要しますが、早く慣れていけたらと思っています。

この大学生活4年が過ぎると、とうとう社会へと出ていかなければなりません。私は大学を勉強のためだけではなく、学生としての最後学びの時間を与えてくれる場所としても考えています。この期間に大きく成長するためにも、失敗を恐れず、様々な環境に進んで飛び込んでいくことが必要だと思います。今までその時々流されるように生活してきた私にはそのような経験がありません。大学には一つひとつの授業やサークル活動など、まだ見たことのない世界が多くあるでしょう。その中で小さなことからでもいいので新しいことに触れていけるように行動すること、まずはそこから始めていきたいです。

最後になりますが、今、この生活は数えきれないほどの人の支えがあったのものです。その方たちへの感謝を忘れることなく、大学生活を充実したものにすることを誓って、結びとさせていただきます。



経済学部 経済法学科

五十嵐智哉 さん

大きな不安や緊張がある中、大学に入学して約2週間が経ち、以前からの友人はもちろん、新たな友人とも仲良くなり、今はとても充実した大学生活を送っています。

入学当初は高校との違いに困惑し、わからないことがあっても相談できる相手がいませんでした。しかし、戸惑っていた私に声をかけ、大学生活のことや部活動、サークル活動、また、履修登録のことについて、丁寧に説明してくださったのは先輩方でした。いつも先輩方には助けられ、憧れの存在になっています。

私が大学生になって新しく始めたことは、カレッジスポーツであるラクロスという球技です。ほとんどの人が大学から始めるためスタートラインが同じなので、自分の努力次第でどこまでも成長できるという点に惹かれ、入部を決意しました。今は、先輩の背中を追いかけ、日々練習に励んでいます。

大学生活では、自分の将来に向け勉学に励み、部活との両立をはかりつつ、さらに新しいことにも挑戦し、一步ずつ着実に力をつけていきたいと思っています。また、充実した生活を送ることができているのは、両親の支えがあったことなので、両親への感謝の気持ちを胸に、悔いのない4年間にしたいです。



社会福祉学部 福祉計画学科

鈴木 杏奈 さん

早いもので入学から約1週間が経ちました。最初は広いキャンパスに行くことや大人数の授業を受けることに緊張し、慣れない大学生活を送っていました。ですが、今では新しく友達もでき、授業を受けるたびに大学生になったことをひしひしと実感し、楽しいと思えるようになりました。

大学は中学や高校と違い、授業の選択も自分次第で、何事も自分で選択や決定をすることが求められると思います。「自由」が増える分、「責任」も増えていきます。ですので、自分に必要なことは何か、自分自身でよく考え、取捨選択ができるように成長していきたいです。

私には具体的な将来の夢はまだありません。ただ漠然と「福祉」を通し、人を手助けできるような仕事に就きたいと考えています。そのため大学では福祉の専門知識を学ぶことはもちろんのこと、その知識を自分の中で理解し、自分の意見を持てるようになりたいと思います。大学4年間という長いようで短い期間を良くするのも悪くするのも自分次第だと思っているので、卒業した時に「楽しかった、充実していた」と思える大学生活を送りたいです。



短期大学部 英文学科

和島ひかり さん

大学生活が始まってから10日が過ぎました。1週目は大学のウェルカムムードに心踊らせ、面白い人と友達になりたいな、いい先生と出会いたいな、北星の女子は聞いていたとおり可愛い子が多いなんて思っていると、抽選でしか取れない授業の申し込みに出遅れ、焦っている11日目です。

また今は履修登録に悩む毎日で、卒業するために必要な単位を計算して自分で時間割を作っていく作業は意外と重労働です。私は短期大学卒業後は大学への編入を考えており、そのためにできるだけ多く授業を取った方がいい、単位を落とさないためにテストが簡単な授業を取った方がいい、優しい先生の授業はこれだ！などを先輩に聞き、編入のために有利になる情報を集めていました。

しかし、去年思い描いていた大学生活のことを思い出し、「危ない！このままではいけない！」と思いました。大学では興味のある分野を好奇心のまま存分に勉強し、「学ぶこと」自体を楽しみたいと思っていました。卒業や編入のために悩むことも大切ですが、そればかりでなく短い北星での生活を楽しむことが私の大学生活でのテーマです。自分が勉強したいと思う授業を履修したいので、履修登録期間ぎりぎりまで悩み、吟味して私の時間割を完成させようと思います。

国際教育センター長 ピーター・グレイ	キャリアデザインセンター長 阪井 宏	入学試験センター長 岩本 一 郎	センター長	短期大学部生活創造学科長 遠藤 太郎	短期大学部英文学科長 白鳥 金 吾	福祉心理学科長 柴田 利 男	福祉臨床学科長 永井 順 子	福祉計画学科長 佐橋 克 彦	経済法学科長 長 屋 幸 世	経営情報学科長 韓 文 熙	経営学学科長 勝 村 務 彦	心理・応用コミュニケーション学科長 田 辺 毅 彦	経済学学科長 高橋 克 依	英文学学科長	短期大学部部長 総合研究センター長 竹 村 雅 史	図書館長 田 中 耕 一 郎	社会福祉学部長 社会福祉学研究所長 原 正 衛	経済学部長 経済学研究科長 蓑 内 豊	文学部長 文学研究科長 日 高 嘉 彦	スミス・ミッションセンター部長	チャプレン	学生支援委員長 鈴木 剛	副学長 大 坊 郁 夫
入試課長 桐 山 城 太 郎	司書課長 宮 川 淳 子	情報システム課長 高 野 正 明	研究支援課長 田 中 正 博	社会連携課長 川 原 靖 彦	就職支援課長 鈴木 克 知	国際教育課長 高 橋 麻 里 子	学生生活支援課長 遠 藤 潤	教育支援課 第二課長 宗 石 依 久 子	教育支援課 第三課長 佐 々 木 薫	教育支援課 第一課長 前 村 俊 一 郎	財務課長 高 橋 章	総務人事課長 今 康 昭	IR広報戦略室長 越 田 真 実	法人課長 越 江 真 理	大学事務部長 笠 松 英 雄	事務局次長 山 本 一 博	事務局 桑 原 大 幸	広報委員長 西 田 充 潔	心理臨床センター長 牧 田 浩 一	社会連携センター長 内 山 智 智	総合情報センター長 金 子 大 輔	学習サポートセンター長 中 村 和 彦	学生相談センター長 鴨 澤 あ かね

組織紹介

修了式・卒業式、卒業記念祝賀会 開催報告

3月15日(木)午後1時より、ニトリ文化ホールにて2017年度卒業式が行われ、大学・短期大学部、大学院を含めた卒業生約1,070名が卒業・修了しました。

式はオルガンの前奏から始まり、一同で讃美歌合唱ののち、チャプレンが聖書朗読と祈禱を行いました。続いて卒業証書・学位記が授与され、学長の式辞、大学・短期大学部より卒業生代表のことばがありました。祝祷と後奏をもって約1時間半の卒業式は無事終了いたしました。

また卒業式のあとは、ロイトン札幌にて卒業記念祝賀会を行いました。約800名の卒業生と教職員が参加し、ビュッフェ形式の食事を楽しみながら大学生生活の思い出を話すなど、会場は賑やかな雰囲気となりました。



卒業式の様子



祝賀会の様子

入学式 開催報告

4月5日(木)午後1時より、ニトリ文化ホールにて2018年度入学式が開催されました。

当日は天候に恵まれ、多くの方がご出席くださいました。そのなかで、大学・短期大学部、大学院を含めた新入生約1,200名が、緊張した面持ちで晴れの日を迎えました。オルガンの前奏によって始まり、一同による讃美歌「いつくしみ深き」の合唱の後、チャプレンが聖書朗読と祈禱を行いました。学長の式辞、理事長の祝辞、在学生代表からの歓迎の言葉と続き、その後、大学・短期大学部の各新入生代表が誓いのことばを述べました。谷川俊太郎氏作詞の学歌が吹奏楽部とチャペル・クワイアにより披露され、一同で讃美歌「真実に清く生きたい」を合唱しました。祝祷と後奏をもって約1時間の入学式は無事終了いたしました。式終了後には、新入生達がご父母と楽しそうに会話をする姿や会場の前で記念撮影をする姿などが多く見られました。その表情には、これから始まる本学での生活に対する大きな希望が満ちていました。



◆ご相談ください◆
～学費納入について～

授業料等学費につきましては、毎年、期限までの納入をお願いしているところですが、学費に関する諸制度についてお知らせいたします。

詳細は今年度のキャンパスガイド45～48頁(学生への配付冊子)、及びキャンパスガイドWEB(https://cgw.hokusei.ac.jp/) → 「奨学金・学費・実習費」 → 「学費とQ&A」 「奨学金」を参照ください。

■各種減免制度

○兄弟姉妹等同時在学減免

兄弟・姉妹等で同時に2名以上が1年を通じて在学されている場合、そのうちお一人以外の方の「教育充実費」及び「後援会費」を全額免除いたします。願出にあたっては、戸籍謄本の添付をお願いしております。財務課までお申し出ください。

○身体・精神障害者減免

学部、大学院又は短期大学部の学生で身体障害者手帳もしくは精神障害者手帳をお持ちの場合は「教育充実費」の2分の1を免除いたします。財務課までお申し出ください。

○修学困難者減免

学費負担者(主として家計を支えている者)の死亡・病気・自己都合以外の理由での失職(解雇・倒産等)や災害等により経済的に修学が困難になった学部又は短期大学部の学生に対する減免制度です。それぞれの状況により条件が異なりますので、学生生活支援課までご相談ください。

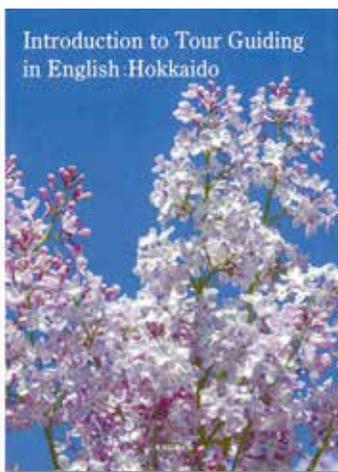
■学費延納制度

万が一、家計の事情等で期限までの納入が困難な場合は、学費等延納制度により納入期限を延長することが可能です。財務課までご相談ください。

学術出版の紹介

「Introduction to Tour Guiding in English:Hokkaido」

短期大学部英文学科 田中 直子 専任講師



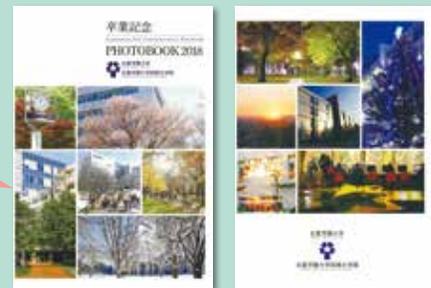
2017年度の大学後援会学術出版補助をいただき、このたび標記の拙著をヘイディトムソン専任講師とともに上梓することができました。後援会からのご支援に深く感謝申し上げます。

日本は戦後間もない頃より、外国語で有償の観光ガイドをする「通訳案内士」の資格制度を設けてきました。通訳案内士は別名「民間の外交官」とも称されます。それは彼らの仕事が「外国人旅行者が日本の旅を楽しみ、かつ日本文化を理解する」手伝いをする事で、日本の素晴らしさを世界へ発信する側面があるためと言えます。日本におけるインバウンドが拡大する今、外国人旅行者の訪問先は東京～大阪近隣を結ぶ「ゴールデンルート」から北海道を含む全国の地域へと広がり、それに伴い地域の魅力を伝える外国語の観光ガイドへのニーズが高まっています。

本書は英語による観光ガイドの仕事に興味を持つ方々に向けたガイド教育の入門書であり、大学教員と現役の通訳案内士が執筆を担当し、グローバルな視点からとらえたツーリズムの現状や日本の文化、さらに北海道の観光地についてアカデミックな知識と実践的なスキルの両方を学ぶ内容となっております。本書が大学生を含む多くの方々に対し、ツーリズムやガイドングの仕事の面白さに触れ、理解を深める一助となれば幸いです。

後援会からのプレゼント

卒業生へ



新入生へ



後援会では毎年、卒業生と新入生の皆さんに記念品を贈呈しております。2017年度卒業生には『卒業記念PHOTOBOOK』を贈りました。ゼミやクラス、サークル集合写真を中心に掲載し、卒業後も母校の思い出を振り返ることのできる1冊となっております。

また、新入生には「カード型USBメモリ&ステープラー」を贈りました。USBメモリには北星学園大学の校舎の写真がプリントされており、ステープラーには校章がデザインされています。箱も含め、全てオリジナルの製品となっております。今後の大学生活の中でぜひ活用ください。

2018年度 大学行事予定

3月	30日(金) オリエンテーション(～4月7日)	7月	30日(月) 前期授業終了	10月	6日(土) 大学祭(～9日)
	4日(水) 定期健康診断(～7日)		31日(火) 前期定期試験(～8月8日)		25日(木) 宗教改革記念講演会
4月	5日(木) 入学式		1日(水) 『後援会だより』第134号発行		27日(土) 第2回札幌地区父母懇談会 (全学年対象)
	9日(月) 履修登録開始(～15日) 前期授業開始	8月	25日(土) 北見地区父母懇談会		3日(月) 『後援会だより』第135号発行
	2日(水) 学園創立記念日(授業実施日)		26日(日) 旭川地区父母懇談会	12月	21日(金) 年内授業最終日 クリスマス礼拝
5月	16日(水) 後援会第1回役員会		1日(土) 釧路地区父母懇談会		16日(水) 後援会第2回役員会
	25日(金) スミス・ミッションウィーク (～31日)		2日(日) 帯広地区父母懇談会	1月	21日(月) 後期授業終了
	26日(土) 後援会総会・懇親会	9月	8日(土) 函館地区父母懇談会		22日(火) 後期定期試験(～30日)
6月	1日(金) 体育祭(～2日) 『後援会だより』第133号発行		9日(日) 苫小牧地区父母懇談会		5日(火) 卒業生名簿発表
	30日(土) 第1回札幌地区父母懇談会 (大学3・4年次、短大部2年次対象)		14日(金) 後期授業開始	3月	14日(木) 卒業礼拝
			28日(金) 前期末卒業式		15日(金) 卒業式、卒業記念祝賀会 『後援会だより』第136号発行

2018年度

地区別父母懇談会のお知らせ

今年度の地区別父母懇談会は下記の日程で開催いたします。大学の近況報告のあと、お子様の前年度までの修得単位数とその評価がわかる「成績通知票」や「授業科目別出席状況」等を個別にご用意し、担当教員と面談をすることができます。また、就職に関する個別面談も就職支援課職員により実施いたします。地方会場では、昼食を兼ねて教職員やご父母同士の懇談もごぞいます。

地区別父母懇談会は北星学園大学後援会の事業の一環として皆様からの会費により運営しております。毎年、参加された皆様からは大変好評ですので、今年も多くの皆様のご参加をお待ちしております。

※個人情報の保護に関する法律に従い、学生本人が同意しない場合には、修得単位数や修学状況に関する情報を保証人にお伝えすることができません。

※詳細につきましては、本学ホームページまたは6月中旬に送付する案内文書にてご確認ください。

※学生本人を同席させての三者面談は行いません。

※大学3・4年次と短期大学部2年次のご父母対象の札幌地区父母懇談会(6月30日(土)開催)の申込締切(6月11日)が近づいております。参加ご希望の方はお忘れなくお申込み願います。



右記QRコードから申込フォームにアクセスできます。

6月30日(土)	札幌会場	北星学園大学校舎(大学3・4年次、短期大学部2年次対象)
8月25日(土)	北見会場	ホテル黒部
8月26日(日)	旭川会場	星野リゾートOMO7旭川(旧:旭川グランドホテル)
9月1日(土)	釧路会場	釧路プリンスホテル
9月2日(日)	帯広会場	ホテルグランテラス帯広
9月8日(土)	函館会場	函館国際ホテル
9月9日(日)	苫小牧会場	グランドホテルニュー王子
10月27日(土)	札幌会場	北星学園大学校舎(全学年対象)

あとがき

北海道も初夏の訪れを感じる季節となりました。キャンパス内は、木々の緑も色濃くなり、学生たちが楽しそうに行き交う姿であふれています。

さて、6月30日(土)より地区別父母懇談会が始まります。修学・就職状況について個別に聞くことのできる機会となっておりますので、多くの方にご参加いただければと思います。

(後援会事務局 山下)

北星学園大学教育振興寄付金で芳名

募金のご協力に深く感謝申し上げます。

【寄付】2018年2月1日から4月30日まで(敬称略)

☆大学・短期大学部

(父母・同窓生・一般・旧教職員・理事・教職員)

森木 真也 上端 邦夫
佐藤 順子 山本 宏子
三浦 庸子
ビルドプロテック株式会社
秋田 谷英次 大山 綱夫
酒井 玲子 伊藤 章
中村 順一



個別面談の様子(札幌)



全体会の様子(帯広)



就職相談の様子(北見)

留学生ホストファミリー

大募集!

北星学園大学では長期・短期のホストファミリーを募集しております。

長期ホームステイの場合、受け入れ期間は4月から7月中旬、または9月から12月中旬の各1学期(およそ14週間)で、その間の食住費として一定額の補助をさせていただきます。受け入れていただくのは主にアメリカとカナダからの留学生です。登録いただいたご家庭には各学期の前に照会をさせていただき、ご都合の合う場合に留学生の受け入れをお願いしています。

短期ホームステイは学期中に一回、週末にイギリス、カナダ、スペイン、スイス、韓国、台湾、中国、インドネシアからの留学生を受け入れていただくというものです。長期同様、事前にご都合を照会させていただきます。こちらはボランティアでの受け入れをお願いしています。

どちらの場合も英語等の語学力は必ずしもホストファミリーの条件ではありません。

ホームステイは留学生にとって日本での留学生活の中で最も貴重な経験の一つとなっています。皆様のご家庭でも留学生を迎えて国際交流をしてみませんか?



北星学園大学 電話(代表): (011) 891-2731
国際教育課 FAX: (011) 891-9550
http://www.hokusei.ac.jp/international/homestay/

